

文月号
6月30日

右馬允太郎

葉花落
つぱり

梅雨に入りましたという報道が、あつてからずーと晴れの日続きでしたが、ようやくしとしと雨に濡れた美しい夏木立の庭となりました。日中は暑くて朝は寒い日が多くて、冷害の恐れ有りなと一息くらい陽気な身体の方も変にだるからたりしてはいますが、皆様お元気らしいです。年々大きくなつたことを実感する日々の生活ではあります。先住りの動きで又つてゆく他どうにもならないことです。これは普通なのよと云い聞かせながら草を取っています。三月の中旬からトイレの改造、屋根瓦の入れ替え等段々、済んで今はお蔵の修復に左官屋さんを入れてくれています。この際長期間に渡り全てのお蔵の傷んだところを直して欲しいとお願ひしました。時節柄：ういたことの上乗る取人さんか、なつて来てお合えるまで一苦労する時代ですから、貴重な人なのですから嫁に来た時のお蔵の顔も新しい立派な顔つきになつて来てお蔵そのものの大きさも変わつて来ている。驚きです。レニゲンヨーマの苔、ふくらんで来て楽しみがまたこの野草の種類も増えて来て庭歩きが一歩の喜びとなつて来ます。今の課題は「虫の艶」、これかまたかわいらしい花を

咲かすのです。ちよと今から、手強い相手ですわ、どうにかしたいと考へているところです。

④ 四月生れの充と六月生れの童子の誕生会
 今年は東京中央の「治作」で6A23日お祝いの会事しました。90年の友子母、62才と60才の赤子三人、20才の子ともたち三人、会えるだけでうれしいのに、こころは素晴らしい日本建築と上等のしつらい、美しい庭を眺めながらのお会事は明日からの活力が漲つて来るようで元氣とリもしたような子ともたち二人は今フレンチをやっています。和食はやほりいいですね。日本の家屋、日本食……重厚です

涼
 暑
 友子
 あじさい
 毎日色々
 さえして
 まさか

母鹿塩の方で源代ホテルの舞いはじめた
 ようです。夏の風物詩 夕のしめにおまかせ
 下さい